

なぜ調律が必要なの??

苦が狂うから!!!

ピアノの弦には1本約80kgもの力がかかっており、ピアノを弾かなくても自然と音は変化してしまいます。音の合っていないピアノで演奏を続けると、正しい音程感が身につきません。

調律の工具の紹介

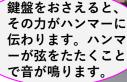
- ◎工具名称と使い方紹介
- ①チューニングハンマー ピアノの弦を張ったり、 緩めたりして音程を合わせる。
- ②音叉 基準となる音をとる。
- 3ウェッジ 音を止める。



UP調律とGP調律、何が違う?!



UPはピアノの弦が縦方向 に張られています。その ため、調律をするときの 姿勢は普通に立った状態 に近くなります。











GPはピアノの弦が横方向に 張られています。そのため、 調律をするときの姿勢はUP に比べると<mark>前傾</mark>になります。

狂った音と綺麗な音の違いが分かる動画です→ 興味があったら見てみてね!





Q. 調律には絶対音感が 必要ですか?

A. 必要ありません。調 律では、基準となる 音ともう一つの音を 比べ、物理的な変化 を聴きます。これは 訓練することで身に つきます。



O. 調律をする上で、気を つけていることは?

A. ピアノにとって良い 環境であるために、 温度や湿度にも気を 遣うことや調律中の 姿勢、工具の操作が 雑にならないように 意識することです。



Q. 調律の楽しいことは?

A. 自分で調律したピアノ の音が綺麗に合い、リ ズムよく調律ができた 時です。1年生はUPを 120分、2年生はGPを90 分で調律できるよう訓 練しています。



CHUBU TECHNICAL ACADEMY OF MUSICAL INSTRUMENTS 〒466-0027 名古屋市昭和区阿由知通3-13-6 URL:www.chubugakki.ac.jp

👼 0120-856-854

TELE:052-741-6788 学校案内無料送付中

